

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		一葉記念館管理運営					所管	文化産業観光部 文化振興課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	138	計画事業名	文化施設の活用			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 31 誰もが文化に親しむ環境づくり					[事業開始] 昭和36年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕			東京都台東区立一葉記念館条例、同施行規則				
	事業対象	直接の対象 : 区民をはじめ、広く一般 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	台東区にゆかりの深い作家である樋口一葉に関する資料を展示公開することにより、区民文化の振興を図る。								
	事業内容 [H30年度]	樋口一葉に関する資料の収集、保管及び展示公開を行った。また、資料の調査及び研究と、施設の維持管理を行った。								
	委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容		(公財)台東区芸術文化財団を指定管理者とし、管理運営を委託している。					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	開館日数	日	292	286	295	296	293	101.0%	
	成果指標	入館者数	人	15,000	20,095	15,738	14,317	17,000	84.2%	
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度	
					16,528		15,073		21,554	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,338		1,592		2,645	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			16,528		15,073		17,754	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		3,800	
	総経費				17,866		16,665		24,199	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			3,610		3,147		2,998		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		10		
	一般財源(区負担額)			14,256		13,518		21,191		
課題及び今後の進め方	朗読サロンやギャラリーミニコンサートなど様々な特別講座や一葉祭の開催日を金・土・日曜日にするなど、柔軟な試みを行っているものの、入館者数が減少している。特に企画展や特別展において、魅力的なPRをしていくなど入館者増に向けた工夫が必要であり、今後も引き続き取り組んでいく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	台東区にゆかりの深い作家である樋口一葉の名を冠する唯一の施設である。一葉の文学業績を後世に遺すため、地元住民の熱意に応じて区が建設した経緯がある。引き続き、区立の文化施設として地域に根ざした運営を行い、区民をはじめ広く一般に公開していく。							
	効率性	3	施設の維持管理等に必要な経費を最小限に留め、指定管理による効率的な運営を行っている。							
	手段の適切性	3	指定管理者としての専門性を活かしながら、区民団体や地元町会等と連携し、来館者サービスの向上を図るためガイドボランティアを育成するなど、地域に密着した施設運営を行っている。							
目的達成度	3	入館者数は目標を下回ったものの、一葉祭等の行事では前年度の約1.4倍強の入館者を集めるなど、事業は概ね良好に実施できている。								
【総合評価】 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
台東区にゆかりの深い作家である樋口一葉とその時代の文化に触れられる場として、一葉祭などの行事では、前年度を大きく上回る入館者を集めるなど、地域に密着した運営を行っている。しかしながら、入館者数が目標を達成していない状況にあるため、引き続き入館者数の増に向けた取り組みが必要である。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		